

事業所における自己評価表（公表）  
（児童発達支援）

公表：令和 6年 3月18日

事業所名 上ノ国町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容によって、部屋の使い分けや場所変更をしている。	・活動内容によって部屋を使い分けしたり、物の配置を変更する等、適切なスペースの確保に努めていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			・職員は、法令基準に基づき適切に配置しております。今後も体制を維持出来るよう努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		・必要に応じて視覚的支援を取り入れ、伝わりやすい、わかりやすい工夫をしている。 ・写真や絵カード、タイムタイマー等。	・利用児にとって何が必要で、どんな環境が過ごしやすいかを考慮し、適切な環境となるよう心掛けていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・定期的な清掃、消毒等を行っている。 ・個別活動の時は、パーティションで部屋を仕切る等、落ち着いて活動出来るようにしている。	・清潔な空間を保つため、定期的な清掃、こまめな換気等を継続していきます。また、活動に応じた適切な空間となるよう心掛けていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日々職員間で確認をするようにしている。	・職員全体で情報を共有しながら、必要に応じた見直しを行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			・事業所評価アンケートの結果は、職員間で共有し、日々の業務改善につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			・職員間で話し合い、その結果を事業所としての自己評価とし、上ノ国町ホームページに公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・決められた第三者からの評価は実施していないが、各町や外部機関からの意見を業務に反映している。	・各町からの意見等をふまえ、職員間でその都度見直しを行いながら、業務改善に努めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		・年に一回以上は研修に参加するようにしている。	・職員の資質向上を図るため、オンライン研修を含めた研修会等に積極的に参加していきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントや面談等による情報を基に支援計画を作成している。	・アセスメントを行い、利用児と保護者のニーズや課題に沿った計画を作成するよう心掛けていきます。

適切な支援の提供

⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		・事業所内で統一されたアセスメントシートを使用している。	・適切なアセスメントとなるよう定期的にツールの見直しをしていきます。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・子どもの状況や保護者からの聞き取り等を精査し、必要な支援を適切に実施出来るよう努めている。	・利用児の年齢や発達段階、特性等をふまえ、適切な支援内容を設定するよう努めています。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○			・適切な支援が行われているかを随時確認しながら、支援の提供に努めています。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・その日に行うプログラムを職員間で話し合い、設定するよう努めている。	・職員間で情報を共有し、子ども達が楽しんで活動出来るようなプログラムを立案していきます。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子ども達が楽しんで取り組める内容にするため、記録を見返しながら実施している。	・支援内容を振り返り、その時々に必要な活動を取り入れつつ、プログラムが固定化されないよう心掛けていきます。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか。	○		・子どもの状況や保護者のニーズをふまえて活動の組み合わせを考えている。	・今後も適宜組み合わせられるよう努めています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		・随時、確認するようにしている。	・朝の打ち合わせ時等に情報を共有し、必要な対応がいつでも出来るよう心掛けていきます。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・口頭で確認をしたり記録に残して共有出来るよう心掛けている。	・気づいた点等は、随時職員間で伝え合い、情報を共有するよう心掛けていきます。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・療育ごとに記録を取るように徹底している。	・今後も療育ごとに記録を取ることを徹底し、随時支援内容の検討・見直しをしていきます。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		・半年に一度、見直しを行っている。	・半年に一度見直しを行い、適切な個別支援計画となるよう心掛けていきます。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や担当者が参加している。	・今後も利用児の状況を把握している者が参加し、相談支援事業所との連携に努めています。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・各町の関係機関と随時連携を図っている。	・随時、関係機関と連携を図りながら取り組みを進めていけるよう心掛けていきます。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・必要に応じて連携を図っている。	・看護師を配置していないため、医療的ケアが必要な子の受け入れはしていませんが、重症心身障害のある子ども等に対しては、随時関係機関と連携を図りながら取り組んでいます。

関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	○		・必要に応じて連携を図っている。	・看護師を配置していないため、医療的ケアが必要な子の受け入れはしていませんが、重症心身障害のある子ども等に対しては、随時関係機関と連携を図りながら取り組んでいきます。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて情報共有するよう努めている。	・必要に応じてケース会議を実施する等、関係機関との連携に努めていきます。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて引き継ぎ等を実施するようにしている。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		・随時、助言をもらったり研修に参加している。	・研修会への参加、必要に応じて助言が受けられるよう他機関との連携に努めます。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流をする機会があるか。		○	・保育所等と併行通園している子が多いため、現在は特に機会を設けていない。	・保育所等との併行通園をしている利用児が多いため、交流の機会は特に設けておりませんが、必要に応じて検討していきます。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加している。	・今後も児童発達支援管理責任者が各種会議等への参加をしていきます。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・療育の送迎時や面談、定期的なお便り(写真付き)等により、状況を伝え合うよう心掛けている。	・個別懇談や、送迎の際に日々の療育の様子を伝え合う、書面にてお知らせをする等して、利用児の状況や課題について共通理解が出来るよう努めていきます。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。		○	・ペアレントトレーニング等のプログラムは実施していないが、要望があれば適宜対応するよう努めている。	・ペアレントトレーニング等のプログラムについて、お便り等にて周知していくよう努めていきます。また、保護者向け学習会の実施も検討していきます。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用前面談時や契約時に丁寧な説明を心掛けている。	・利用前面談時や契約時に丁寧な説明を心掛けます。 ・ご不明な点等がありましたら、再度説明をさせていただきますので、いつでもお声掛けください。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者に対して支援計画の説明を必ず実施し、同意を得ている。	・作成した「個別支援計画」を提示しながら説明をし、同意をいただいております。今後も適正な計画を作成するよう努めていきます。
③4	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・随時、適切に対応するよう心掛けている。	・相談等につきましては、随時個別に対応させていただいております。今後も迅速に対応するよう心掛けていきます。	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○		・来年度につきましては、保護者同士が気軽に話せる茶話会や、学習会等の開催を検討していきます。	

保護者への説明責任等	⑶	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・ 随時、適切に対応できるよう心掛けている。	・ 苦情等に関する相談体制につきましては、契約書に記載している他、玄関に掲示しております。 ・ 相談等の申し入れがあった場合には随時対応させていただきます。迅速かつ丁寧に対応できるよう心掛けていきます。
	⑷	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ 毎月下旬に「ひまわり便り」を発行し、行事予定や事業所の様子をお知らせするよう努めている。	・ 毎月「ひまわり便り」を発行し、行事予定等をお知らせしております。 ・ 必要な情報をお知らせ出来るよう努めていきます。
	⑸	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○		・ 十分注意するよう職員間で確認している。	・ 個人情報の取り扱いにつきましては、十分注意をするよう職員間で確認を徹底してまいります。
	⑹	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ 口頭でのやり取りやお手紙等により、適切な情報伝達出来るよう心掛けている。	・ 相手に伝わりやすい方法を探り、適切に対応できるよう心掛けていきます。
	⑺	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・ 上ノ国高校ボランティア局の生徒との交流を実施している。	・ 上ノ国高校ボランティア局の生徒との交流は、今後も継続してまいります。また、地域のイベント等への参加につきましても、必要に応じて検討してまいります。
	⑻	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・ 救命講習や災害時の避難訓練等は定期的を実施してまいります。また、保護者への周知につきましては、玄関への掲示及びひまわり便りを活用し発信していくよう努めてまいります。
	⑽	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・ 年に数回、災害の発生を想定した避難訓練を実施しております。今後も継続してまいります。
	⑾	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・ 利用開始前に必ず保護者に確認している。	・ 今後も保護者からの聞き取りを徹底してまいります。
	⑿	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○		・ 保護者からの聞き取りを実施し、対応を確認している。	・ 今後も保護者からの聞き取りを徹底してまいります。
	⑿	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		・ ヒヤリハットに記載された内容は、随時、職員間で共有するよう心掛けている。	・ 気づいたことを記録し、必ず職員間で情報を共有するよう心掛けていきます。
⑿	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・ 外部の研修に参加したり、職場内研修を実施する等定期的に学ぶ機会を設けるよう努めている。	・ 定期的にチェックリストを用いて、職員自身の行動を見直す機会を設けております。また、職場内外での研修にも参加するよう心掛けております。今後も適切な対応に努めてまいります。	
⑿	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・ 随時、適切に対応できるよう心掛けている。	・ マニュアルに沿って適切に対応するよう努めてまいります。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。